当院から、プラザ透析センター

- **安井 暁子 看護師が、**
一般演題の学術発表を！
- **渡邊 美智子 師長が、**
教育講演の座長に推挙！

第26回
関西CAPD
メースセミナー抄録

2011年2月20日(日)
メルパルク OSAKA

- 特別講演 『腎不全患者の栄養障害
～腹膜透析における管理のポイント～』
講師：政金生人先生
(矢吹嶋クリニック)
- 教育講演 『腹膜透析の現況～PDレジストリより～』
講師：椿原美治先生
(大阪府立急性期・総合医療センター腎臓・高血圧内科)
- ワークショップ 『患者指導を考える～栄養管理の視点から～』
- 一般演題 PD看護全般 4 演題

主催：関西CAPD看護研究会
主催：バクスター株式会社
当番幹事：大阪府立急性期・総合医療センター
後援：社団法人 大阪府看護協会

平成23年2月20日(日) 10時開始

第26回 関西CAPDナースセミナープログラム

9:30~10:00 会場 受付

10:00~10:05 開会の挨拶

10:05~10:45 一般演題

座長 福田 由紀子 社会保険神戸中央病院

① 「在宅でのCAPD導入期における訪問看護の活用について」	八津川 栄子	医療法人清翠会 牧訪問看護
ステーション清水
② 「保存期教育入院の透析導入への影響についての一考察」	西堀 好恵	近江八幡市立総合医療センター
腎臓センター
③ 「自己流管理が原因で腹膜炎を発症したと考えられる1症例の経験」	安井 暁子	医療法人 康仁会 西の京病院
プラザ透析センター
④ 「腹膜透析患者の食欲に関するコホート研究 ~1年後の中間報告~」	新治 純子	関西CAPD看護研究会

10:45~11:15 教育講演

座長 渡邊 美智子 医療法人 康仁会 西の京病院
プラザ透析センター

『腹膜透析の現況~PDレジストリより~』

講師：椿原美治先生（大阪府立急性期・総合医療センター）

11:45~12:45 休憩

12:45~13:15 関西CAPD看護研究会総会

13:15~13:25 休憩

13:25~14:25 特別講演

座長 村井 正美 大阪府立急性期・総合医療センター

『腎不全患者の栄養管理~腹膜透析における管理のポイント~』

講師：政金生人先生（医療法人社団清永会矢吹嶋クリニック）

14:25~14:35 休憩

14:35~16:20 ワークショップ

座長 岩井 典子 大阪府立急性期・総合医療センター

『患者指導を考える~栄養管理の視点から~』

① 「当院におけるPD医療へのチームでの取り組み」	市川 和子	川崎医科大学附属病院
② 「看護師における栄養管理のかかわり方」	高井 奈美	医療法人衆済会 増子記念病院
③ 「PD患者さんのために管理栄養士ができること」	榎本 雅子	埼玉医科大学総合医療センター
④ 「栄養指導の取り組みを始めて~看護師が関わることの重要性~」	和田 明美	大阪府立急性期・総合医療センター

ディスカッション 45分

16:20~16:30 閉会の挨拶・終了 26回ナースセミナー 大会長 村井正美

— 抄 録 —

— 一般演題 — ③

自己流管理が原因で腹膜炎を発症したと考えられる1症例の経験

康仁会 西の京病院 プラザ透析センター¹⁾ 内科²⁾

安井 暁子¹⁾(やすいさとこ) 岡嶋 良美¹⁾ 谷 好美¹⁾ 高藤 節子¹⁾ 渡邊 美智子¹⁾

武井 誠²⁾ 吉岡 伸夫²⁾ 高比 康臣²⁾

[症例]

60歳男性。一部上場の大手家電メーカー役員で月に2回程度の海外出張あり。性格は温厚であるがルーズな面がある。理解力は良い。

40歳、慢性糸球体腎炎と診断されるが放置。56歳より当院の腎不全専門外来に通院、本人希望でPDを選択、59歳で導入。導入時NPD(ゆめ)で開始、残腎機能もあるため、海外出張期間(2泊3日まで)はPDをしなかった。また、長期の海外出張に備えシャントも造設しておいた。

しかし、導入3ヶ月で水分管理不良にて体重増加があり、海外出張時のバック交換を開始した。導入11ヶ月の海外出張直後に腹膜炎を発症し入院、難治性のためPDを離脱した。離脱後に、本人への聞き取り調査より、海外出張時くり～んフラッシュを持参せず、不潔な手で無理やり接続した事や、UVディスクコネクトキットを何度も再利用していた事などがわかった。

[まとめ]

PD離脱後に、腹膜炎の原因と考えられる不潔操作の自己流管理が明らかになった。患者の社会背景や導入時の情報から理解力があると判断し、自己管理が出来るという思い込みがあった。導入後、バック交換時の手洗いをしていないことがわかってはいたが、適切な時期に十分な指導ができていなかった。

[結語]

私たちの指導を振り返ると反省する点も多いが、経験したことを今後のPD指導・教育にいかしていきたい。